

## 第3回 阿賀野市総合計画審議会 議事概要

### 1 会議の概要

日 時：令和3年3月9日（火）午後2:00～3:30

場 所：阿賀野市笹神支所 大会議室

出席者：

#### 【委員】

武田会長、桜井副会長、大竹委員、佐久間委員、佐々木委員、山崎委員

#### 【市】

菅原総務部長、米山民生部長、阿部産業建設部長、石原政策監、  
事務局：企画財政課（大橋課長、西潟補佐、中野係長、廣川主任、鈴木主任）

### 2 議事

- (1) 阿賀野市総合計画 2016-2024 基本計画（2021-2024期）（案）について
- (2) 答申案について

### 3 発言の内容（主な意見等（○：委員、●：市））

- (1) 阿賀野市総合計画 2016-2024 基本計画（2021-2024期）（案）について

#### 【土地の有効利用】

○用途地域について、旧水原町と旧安田町は用途地域が貼りついているが旧京ヶ瀬村はかなり人口が増えて来ているが用途地域がない。特に緑岡周辺については、今後の課題として用途地域を貼りつけた方が良くと思う。開発が進んでくると、ある程度建築制限を誘導していかないと色々な用途が入り込んでいってしまう可能性があるのではないか。

●京ヶ瀬地区の用途地域については内部でも問題意識は持っているが、住宅系がメインで貼りついているため、どのように用途を分けていくか課題があると認識している。今後も検討していきたい。（産業建設部長）

○道の駅に関連して、パブリックコメントで「ロマンティック街道」という意見があったが、サントピアワールド・村杉温泉・瓢湖などを勘案して観光ルートを検討してもらえれば良いのではないか。

●例えば、現在も、近隣の自治体と連携して国道290号線を「にいがた庭園街道」としてPRするといった取組みを実施している。道の駅の関連においても、ご意見を参考にしながら当市の活性化について考えていきたい。（企画財政課係長）

### 【行政経営の推進】

- 新型コロナウイルスの流行でテレワークが進み、職場に近い場所ではなく、「生活ファースト」で住む場所を選択するようになってくると思う。その時に必要なものは“生活の楽しみ”ではないか。阿賀野市には温泉やゴルフ場、山や自然があり、アウトドアもブームである。そういった意味で「阿賀野市は面白い地域である」とPRすると住んでみたいと思う人は結構いるのではないか。そのPRの核になるのは道の駅であると考えている。ゲートウェイとして阿賀野市のイメージが感じられるものにしてもらうとPR効果が出てくるのではないか。
- 道の駅についてはゲートウェイとして積極的にアピールできる施設にしたいと考えている。(産業建設部長)

### 【地球環境・自然環境の保全】

- 再生可能エネルギーについて、現在は売電単価が下がっているため、自家消費目的で設置しているところが多いようだが、最近は公共施設の屋根に設置するような事例もある。上手くやれば自家消費をすることで経費の削減に繋がるだけでなく、脱炭素として知名度の向上も狙えるのではないか。
- 笹神地区で今年から外資系企業のメガソーラーが2か所稼働予定であり、安田地区でも民間企業がソーラー発電を行っている。それを含めて考え方を整理していかなければならないと考えている。(企画財政課長)
- 東日本大震災時の電力の逼迫を受け、県がリーダーシップをとり、公共施設にソーラーパネルを設置できないか調査をしたことがあるが、既存の施設に設置するには、施設改修が必要となることも想定されたため、改修費等の問題から断念した経緯がある。水原中学校や葬斎場など新しい施設には、ソーラーパネルを設置しているが、これから新設する施設についてはソーラーパネルの設置を含めて考えていくこととなる。(総務部長)
- 既存施設についても、屋根の張替え等の修繕を行う際には、導入による削減効果等を検討材料に入れてもらいたい。
- 東日本大震災の頃とはコストの部分など状況が変わっているようで、その点も含め検討を進めていく価値はあると考えている。(総務部長)
  
- 安田地区と笹神地区の山間がソーラーパネルで埋め尽くされているが、自然崩壊といった視点でしか映らない。ゲリラ豪雨時における土砂災害なども心配している。設置した企業において対策はとられているようであるが、十分な対策となっているのか懸念する声も聴かれる。山間地にソーラーパネルを設置するよりも、個人が設置し自家消費する方向にしていく方が住み良いまちになるのではないか。

- ソーラーパネルは東日本大震災を契機にクリーンエネルギーとして導入が進んだが、結果として乱開発になっている面も見受けられる。条例で規制をかけている自治体もあるようだが、阿賀野市においては何らかの規制をかけているのか。
- 山間地にソーラーパネルを設置することは森林伐採を伴う。脱炭素の地域づくりといった観点からは、ソーラーパネルを増やすことだけがいいということではなく、バランスが大事だと思う。開発に対するチェックは県で行っており、これから開発需要が高まるようであれば規制の検討も必要と考えられるが、今のところこれ以上の開発計画は聞こえてこない。(総務部長)

## (2) 答申案について

### 【ハクチョウの湖「瓢湖」周辺魅力向上計画】

- リズム・ハウスが残念ながら休止してしまった。瓢湖の周辺に宿泊施設があることは観光面で非常に重要だと思うが、今後はどのように考えているのか。
- 入浴施設の再開等、市に対してご意見をいただいている状況であるが、宿泊の需要等を見ながら今後の方向性を検討していく。(総務部長)

### 【開かれた市政の推進と効果的な情報発信】

- 阿賀野市は生活を楽しむ要素（自然・温泉・農業体験・スポーツ少年団・遊園地・酒など）が揃っている。単体ではなく、複数の団体や企業がタッグを組んで生活の充実をPRできるようになると、阿賀野市は観光だけではなく、住みたいと思う人が増えるのではないかと。「生活の楽しさ」は良いキーワードだと思う。
- 市の魅力のPRの部分については、課題のひとつと捉えている。子育て世代に向けた情報発信などを含め、市の魅力を感じてもらえるようなPRを行っていきたい。(企画財政課長)

### 【子育て環境の充実】

- 京ヶ瀬地区は住宅が増えているが、保育園・幼稚園の受け入れ態勢に問題があるのではないかと。せっかく移住しても近隣に子どもを預けることができず、水原、笹神など離れた地区の保育園・幼稚園を利用することになるのは不便である。人口増を見据えた対応をお願いしたい。
- 委員ご指摘の問題については承知しており、現在市立幼稚園を所管する学校教育課と受け入れ数を増やすことについて協議している。ただし、未満児保育の需要増については、保育士の配置基準の関係などから、京ヶ瀬地区でこれ以上の対応を行うことが難しい状況ではあるが、水原地区では受け入れることができる。地元で預けられることが一番であることは承知しているが、市全体のキャパシティの中で対応していきたい。(民生部長)

**【その他】**

○市に対する市民から要望・意見は、どのように申し出れば良いのか。

●「市長へのたより」は市長も目を通すので、非常に有効な手段である。(総務部長)